

# 漢語の“是～的”構文における目的語の位置 中台の相違について

## Differences in the Object Position

### between the Taiwanese and the Chinese "Shi ... De" Constructions

吳 幸芬

WU Hsing Feng

#### はじめに

“是～的”構文の文型とは、一般に“是”が文頭や文中に現れ、“的”が文末に置かれて、情報焦点を述語動詞と目的語の前後に置く文型である。

しかし、この“是～的”構文において動詞が目的語を伴うとき、その語順はなぜ二つの文型（「動詞 - “的” - 目的語」、「動詞 - 目的語 - “的”」）に分けられるのであろうか。同じ漢語文化圏の台湾人にとっては不思議な現象である。

即ち、普通話では“是～的”構文に目的語が必ずしも文末の“的”の前に置かれるとは限らず、“的”の後ろに置かれても成立するという説がある。但し、同じ漢語を用いる台湾では、このような「動詞 - “的” - 目的語」の語順は全く用いられない。本稿では、この現象が多くの台湾人話者の母語である閩南語（漢語閩語方言の一種）の影響を受けたためなのか、または語法変化によるものであるのかを、究明したいと考えている。

本稿では諸研究者の論点や統語論における語法理論を根拠として、さらにネイティブスピーカーの直観にも基づいてその原理を見つけることとしたい。

換言すれば「動詞 + “的” + 目的語」、「動詞 + 目的語 + “的”」の語順で文の焦点や意味の伝達ニュアンスが微妙に変わるかどうかについて解明したい。

#### 1. 先行研究

刘月华・潘文娛・故頼 (1983):

如果“是～的”中间的动词带宾语，这个宾语可以紧跟着动词，放在“的”前，也可以放在“的”后。口语以放在“的”后更为常见。如果宾语是人称代词，则常常放“的”前。（       かけは筆者訳による。以下同じ）

       例(1)、(1')のように“是～的”構文において目的語の位置は文末の“的”の前後にどちらでも成立すると定義されている。但し、例(1)のように目的語は「的」の後ろに用いられるのが口語

的な用法である。または、例(2)のように目的語が人称代詞であれば、常に“的”の前に置かれる。

- (1) 我是在外语学院学的英文。 (私は外語学院で英語を学んだのだ。)  
(1') 我是在外语学院学英文的。 (私は外語学院で英語を学んだのだ。)  
(2) 他是昨天通知我我的。 (彼が昨日私に知らせてくれたのだ。)

如果动词同时带处所宾语和趋向补语，处所宾语和趋向补语一定要放在“的”前。如果动词同时带一般事物宾语和趋向补语，那麼宾语既可以放在“的”前，也可以放在“的”后。

( それに動詞が同時に場所の目的語や方向補語 と付着している時、目的語や方向補語は必ず“的”の前に置かないといけない。例(3))

- (3) 我们是五点半回学校来的。 (私達は五時半に学校に帰ってきたのだ。)  
(4) 我是跟孩子一起爬到山顶去的。 (私は子供と一緒に山頂まで登っていたのだ。)  
(5) 阿里是昨天打电话来的。 (昨日阿里が電話を掛けてきた。)  
(6) 阿里是昨天打来的电话。 (阿里が電話を掛けてきたのは昨日だ。)

马学良・史有为(1982)・牛秀兰(1991):

主に動詞の音節数から説明を試みている。即ち、“是~的”構文に現れる動詞が一音節ならば目的語は“的”の後ろに用いられ、動詞が二音節ならば“的”の前に用いられる場合が多いとみなしている。

- (7) 我是在外语学院学的英语。 (私は外語学院で英語を勉強したのです。)  
(8) 你是什么时候参加工作。 (あなたはいつ仕事に就いたのですか。)

しかし、この説については马学良・史有为(1982)では、“适用度较高”(適用度が比較的高い) すべての場合には適用されるものではないと述べている。

上述した例は台湾では(1)(6)(7)以外、他の全ての例文が通用している。(1)(6)(7)の場合は意味的に理解できるが、後ろの目的語を省略したほうが受け入れやすい。この例文では既知の事実を前提とし、文末の“的”が已然性を表し、断定的

な説明を述べていると考えられる。

**鹿琮世・藤山和子(1988):**

“是～的”構文に目的語(賓語)がある時には、目的語(賓語)は動詞の後ろ、“的”の前、“的”の後ろ、いずれにも置ける。「動作の受け手を強調するもの。“是～的”の間には動詞が入り、目的語(賓語)は“的”の後ろに置かれる、文意の重点は目的語(賓語)にある。」p135～136と定義されている。

(9) 我是学的中文，他是学的英文。 (私は中国語を勉強し、彼は英語を勉強した。)

(10) 他是写的诗，我是写的散文。 (彼は詩を書き、私は散文を書いた。)

(9) (10) 例文ならば、上述した(1) (6) (7)の例文と違って、動作を行った場所や時間などは一つも触れてないので、過去や未来のことは言及できない。それに目的語が“的”の後ろに置かれることは尚更、焦点がどこに当たるかわかりづらく、意味不明文になると思う。故に台湾国語では全く通用しないと考えられる。正しい使い方は次のような断定・説明文になる。

(9') 我是学中文的，他是学英文的。

(10') 他是写诗的，我是写散文的。

**杉村博文(1995):**

杉村は、このような二通りの使い方はアスペクト性の違いにより生じていると述べ、ていた。その語順と形式について次のように説明している。

…動詞 - “的” 目的語 には、発生が確認された動作・行為を承けて存在する照応形式であることにより、過去時を負擔することがより適した形式に変化する動機づけが与えられる。

一般的に、名詞句化助詞“的”と動詞が直接結合した形式 …動詞 - “的” 目的語 は過去の事件を述べた形式として理解される傾向が強く“的”との間に目的語を介在させた形式 動詞 - 目的語 - “的” と、はしばしば「過去；個別」対「恒常；一般」というアスペクト的な対立を構成する。

過去時の表示に適した形式を獲得したいという要求が、表現の論理性を維持しようとする力に勝った結果、…動詞 - “的” 目的語 という語順が生まれた。

…動詞 - “的” 目的語 という語順の形式には、「…的」と同形(=同音)で意味的構文

的に共通項が多く、非常に使用頻度の高い「...得」の存在があり、それからの類推という解釈作用が働いている。p.51-56-7

(11) (主語) + (是) 怎麼谈的恋爱。(過去・個別の恋愛を言い) (どのように恋をしていたの?)

(12) (主語) + (是) 怎麼谈恋爱的。(恒常・一般の恋愛をしている。) (どのように恋をするの。)

元々漢語では“是～的”構文は強調・断定の他に、已然性も表される。だが、このような二通りの使い方は確かに、アスペクト性の違いにより生じている傾向があると思う。また、例文(11)の場合は「動詞+的+目的語」の語順では、動詞フレーズが定語となるので、“的”は過去の已然性が表すため、必要となるかたわら、後ろの名詞を修飾するのが主な働きとなる。

趙元任著・丁邦新訳(2002):

『中国語的文法』p 158 には、次のように記されている。

“動-賓+「的」” “動+「的」+賓語” 北方話有一個特殊的用法，牽涉特指的「的」跟賓語的關係，是把普通的 動-賓+「的」式變成 動+「的」+賓式。

[動+賓+「的」 動+「的」+賓語という語順は、中国・北方方言では、「特指」の「的」と関係する目的語との関係を考えられている特殊な使い方として用いられている。いわゆる、動+賓+「的」を 動+「的」+賓 にすることである。]

「的」の特指作用：一個句子要是「是……的」就往往把邏輯謂語，挪到動詞以外的其他部分上，表示特指作用。

邏輯謂語(一句話裡的消息重點)亦稱之為文法謂語。

「的」の「特指」作用とは、文に「是……的」構文を用いれば、論理的な述語が動詞以外のところに移されることを「特指」作用というのである。

※論理的な述語(文に焦点を表すところ) / 文法的な述語とも称する。

一般のVO構造(動賓結構)の「是～的」構文では、焦点はほとんど動詞に当てられるが、「的」の「特指」作用という視点から注目すれば、文の焦点は動詞以外の目

的語に移されると考えられる。

(13) 我是昨兒(天)去看戲的(一般特指)

私は昨日、劇を見に行ったのだ。

(14) 我是昨兒(天)去看的戲(北方特指)

私が劇を見に行ったのは昨日だ。

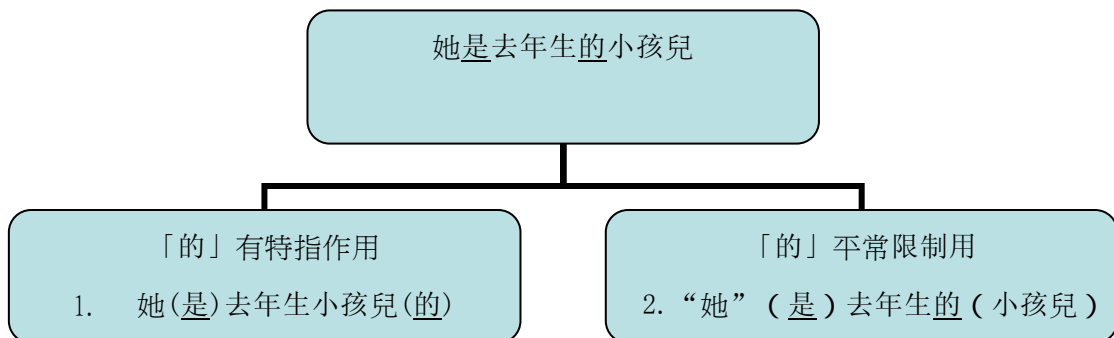
例文(13)は主に動作を行うための対象である目的語「劇」を強調していると考えられる。いわゆる目的語を肯定し、強調的に焦点として見なすことを言っている。

例文(14)は、例文(13)と意味が同じだが、北方方言では常用例文であり、焦点は目的語の「劇」より、主に動作を行う時間を述べている。又、このような語順は現在、中国では北方だけではなく、大陸全体的に普通の会話として自然に用いられている。それに、この例文は、台湾国語では目的語は「的」の後ろに置かれ、主題は前述の内容により既に分っているので、目的語は省略されても可で、意味が変わらないのである。一般的には、省略がなければ、従属文のように後ろには副文を繋がないといけないと思う。例えば次のようになると考えられる。

(14') “我是昨兒(天)去看的戲，不是今天。”

次の(15)・(16)の例は、同じ動詞を使っても動詞の構造が違ふことと、目的語の位置が移動することにより、文はいくつかの違ふ意味が考えられる。

(15) 她是去年生的小孩兒(動+「的」+賓語)の語順になると次のように文の意味が二つ考えられる。



1. 彼女が子供を生んだのは去年だ。(能動動詞/生む/他動詞)

(動+賓語+「的」)の語順になり、「的」は文末に目的語の後ろに置かれ、“特指”

の、肯定的な事実（旧年子供を生んだ出来こと）を強調するように用いる。この文では“是”と“的”はどちらも省略することができ、意味は変わらないが、強調な意味が弱くなって、ただの陳述文になると思われる。

それに、「是～的」構文は、本来、他動詞を使うのが自然である。だが、目的語の「小孩兒／子供」は「的」の前に置かれるほうがより一層強調することができるのではないかと考えられる。

## 2. 彼女は去年に生まれたのだ。（受動動詞／生まれる）

（動+「的」+賓語）の語順になり、事実を陳述することになる。つまり“她”（彼女）という主語はイコール目的語の“小孩兒”だと考えられ、説明文になると思う。

しかし、このような語順では“是～的”構文にはなれず、“的”は単に後ろの名詞「小孩／子供」を修飾することになる。

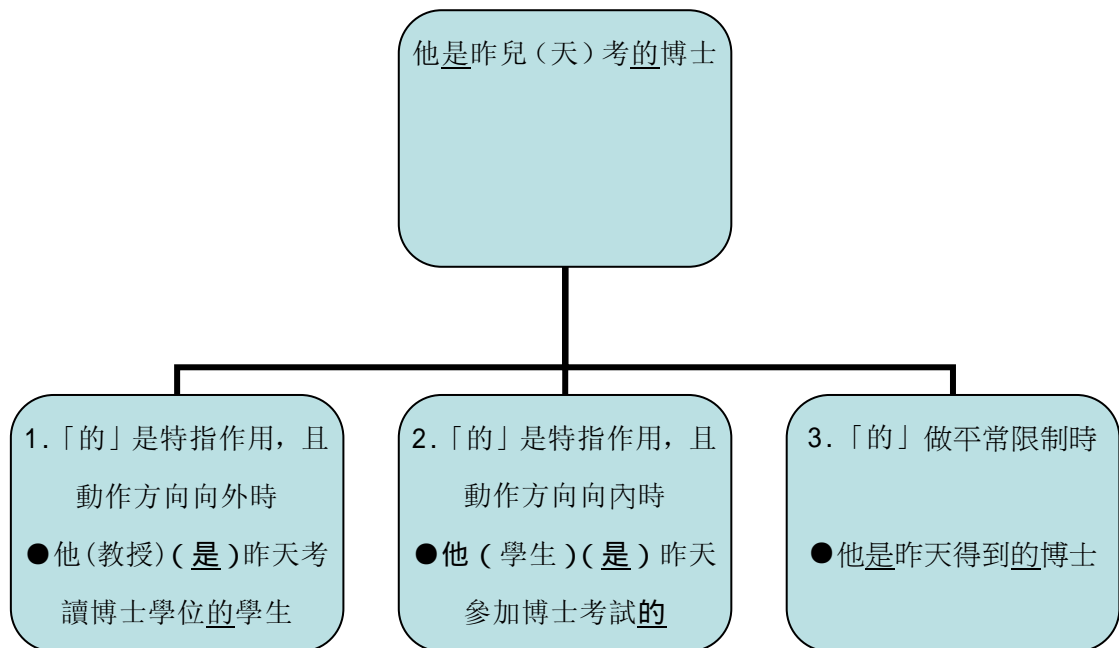
それに、この例文 2. は目的語の「小孩」を省略すると例文 1. の意味も含まれて、二つの意味が持たれると考えられる。又、この文にも“是”を省略しても意味が変わらないが、あった方が受け手が動作を行った「去年」という時間が強調されるようになると考えられる。

日本語では 1. 「生む」は他動詞であり、または自分の意志で、自ら働きかける能動動詞である。「子供」はいわゆる動作を行うための対象の名詞に当たる必要な目的語と考えられる。

2. 「生まれる」は受動的に物事への対処の仕方で、自らの意思とは関係なく、外部からの力によって、いわゆる受身で動作が行われるものだと考えられる受動動詞である。この例文ならば目的語（小孩／子供）は「的」の後ろに置かれても、省略されても意味が構わない。但し、ここでは、目的語がなければ、本稿で討論される目的語の移動変化とは違う構文になると考えられる。

要するに、（北方方言では）上述した例文により一般的な陳述文であれば、語順は「動+「的」+賓類」のように目的語は「的」の後ろに置かれるのが普通だと考えられる。しかし、實際上、本来、中国や台湾では目的語を強調する場合には、やはり「的」を文末に置き、「動+賓語+「的」」のような語順で、より一層強調することができるのではないかと考えられる。

(16) 他是昨兒(天) 考的博士(動+「的」+賓語)の語順になり、目的語(賓語)「博士」が「的」の後ろに置かれる場合は次のように意味が三つに分けられる。



1、昨日博士号の学位試験を受けたのは彼(教授)だ。

主語の「彼」は教授である。いわゆる、昨日博士試験を受けた学生はあの教授である。「的」は受け手「学生」を特定して修飾する。だが、この文は例え文中に「是」を入れても「是～的」構文になれず、ただ已然性を表す陳述文だけと思う。

2、彼は昨日博士学位の試験を受けた。

学生が博士号の学位試験を受けたのは昨日だ。(「是」と「的」が入れる場合、主語または動作主は変わらず学生であるけど、文の焦点は目的を達成した時間の強調と考えられる。「的」は述語に述べていたことを肯定して判断する。この例文では「是」と「的」はどちらも省略することができる。意味は変わらないけど、肯定や強調的な意味がやや弱くなったと考えられる。)

3、彼が昨日得たのは博士号である。

(主語は彼である。)  
「的」は目的語の前に用いられて、「博士」という名詞を修飾する。この例文「得」という動詞は「得る/手に入れること」を表す。後ろの「到」を付加するのは動作の結果や目的達成することをより強調するのである。

但し、実際に例文(16) 1. 2. をネイティブスピーカーに調査すると、その意味を想像しにくいというのである。例文3は、寧ろ次のような意味に受け取られやすいと思う。

“他是昨天取得博士學位的”

“他是昨天取得的博士學位”(彼は昨日博士号を取ったのだ。)

“他是昨天考上博士班的”

“他是昨天考上的博士班”(彼は昨日博士コースの試験に受かったのだ。)

## 2. 動詞 + 目的語 (動賓構造) の構造について

### 2.1 動詞 + 目的語

日本語では、「～が～を～する」という文で、「～を」に当たる語句を目的語という説明がある。目的語は主語に対する言うものではなく、動詞に対し、言うものであり、目的語は動作・行為に関連する人・事・物抽象的な概念等を明示し、動詞の表す動作・行為をより具体化、明確化することである。いわゆる(S+O+V)構文において動作を行うための対象・事物・人物等の名詞が目的語に相当すると考えられる。

漢語では、趙元任著・丁邦新訳(2002)によると

「動-賓式結構的定義:動賓式結構是一個以動詞為中心,放在第一位,用名詞詞語作賓語,放在第二位的向心結構。」

動詞 - 賓語式構造の定義:動賓式構造(動詞+目的語構造)とは主に動詞を中心にした文の構造である。つまり、動詞を文に一番大事な位置に置かれ、名詞語素を目的語として用いられ、文の二番位置に置かれることである。

漢語では、「賓語」とは日本語の「目的語」に近いと考えられる。だが、漢語の賓語とはただ単に動作の仕手・受け手というだけではない。日本語や英語に比べて目的語の範囲が遥かに広いと考えられていて、動詞の表す動作の及ぶ対象、動作によって生じる結果、動作が行われたり到達したりする場所、動作に用いられる道具・手段なども目的語とみなされている。

本稿のアンケートにある例文の1a~10aまでのように、日本語に置き換えると「～を」となるものだけでなく[～に]、[～で]となるものも目的語と見なされるのが中国語の特徴である。次はアンケートの例文から取り挙げて比べてみよう。



「～を」に当たる語句を目的語

例 1a. 学英文 / 英語を学んだ。 5a. 打电话来 / 電話を掛けてきた。 10a. ~写诗, ~写散文 / 詩を書く ~ 散文を書く。

「～に」に当たる語句を目的語で、動作の及ぶ対象を表すものを対象目的語と言う。

例 2a. ~通知我 / 私に知らせてくれた。

「～に」に当たる語句を目的語で、動作が到達する場所を表すものを場所目的語と呼ぶこともできる。

例 3a. ~回学校来 / 学校に帰ってきた。 6a. ~来日本 / 日本に来た。 7a. ~去北京 / 北京に行った。

「～に」に当たる語句を目的語で、事・物抽象的な概念等を明示することにより、物事目的語とも言えるのではないだろうか。

例 8a. ~参加工作 / 仕事に就いた。

よって、日本語では目的語位置を占める名詞句の格助詞として「に」と「ヲ」の二種類が存在し、目的語位置を占める名詞句が二格名詞句の場合と、ヲ格名詞句の場合がある。

それに“的”構造も目的語になり得る。アンケートの例文 1 a~20 a の名詞句・形容詞句・動詞句（定語）になる部分を目的語と見なすことができる。

## 2.2 離合詞 (separable words) について

杨庆蕙 (2006) 「現代汉语离合词」には次のように定義している。

“离”指各“离合词”的两个构成成分之间插入别的成分，或两个构成成分变换位置，或重叠前一部份等；“合”则指各“离合词”的两个构成成分作为一个整体的各种句法功能。

“离”とは“离合词”に二つ構成成分の間にほかの成分を差し込むことである。または、二つの構成成分を位置に変えさせることである。“合”とは“离合词”に二つ構成成分を一つの整体的な各種句法を持つ機能になることである。

懂紹客、嚴俊杰(1996)

對“離合詞”得解說是:指構詞語素之間可以插入別的成分進行擴展的合成詞。如:“幫忙” — “幫個忙、幫過忙、幫了個忙、幫不了忙”。其特點在於兩個詞素可離可合。一般認為合再一起是詞, 分開以後是詞組。從內部結構型式看, 主要是動賓結構的合成詞。

すなわち離合詞とは、懂紹客、嚴俊杰(1996)で取り挙げられている例“幫忙” “幫個忙、幫過忙、幫了個忙、幫不了忙”のように“幫忙”という動詞の中に修飾語、時制、補語などが入り、動賓構造の複合語を作ることである。

漢語の「離合詞」という名称は最初に陸志偉(1957)によって述べられた。当時の研究者達によって、「離合詞」とは漢語の「詞」又は「詞組」の言語成分であるか否かが討論されていて、未だ、はっきり定義されていない。本当は漢語の品詞の中には「離合詞」というものは入っていない。ただ語彙の用法では特殊な使い方がなされていて、二音節の語彙が離れたり、結合したりするので、「離合詞」という名称で定義されている。

「それに「離合動詞」とは動詞の語素が二つからなっているもので、「離合詞」と同様に文字通りに動詞の中に離れたり、合併したりするような動詞熟語である。」いわゆる「動賓結構(動詞+目的語の構造)」のことで、二文字の動詞の中には、2つの形態素が分離するものである。このような語を「離合動詞(または離合詞)」言う。

一般には動詞と目的語がくっついて一つの語に見えるが、文中では度々分かれて、動詞と目的語の間に修飾語“的”・数量詞(三次・二個月・・・)・定語(你的・我的・他的・・・)・補語(得・好・完・不・・・)等の別の単語が入ることがある。普通は「的(de)」を使うのが多いと考えられる。他にも(了・着・在・過・・・)のような時制(テンス)いわゆる「過去」「現在」「未来」の表わすこともできて、又は動作の完了・継続・結果などを表わされる相(アスペクト)も「離合詞」の中に入れることができる。

例 1. “洗澡” / シャワーを浴びる・風呂に入るという述賓結構詞が次のように分離することができる。

“洗了個澡” / 風呂に入ることができた。ああ～風呂に入ってきた。

“洗不洗澡” / 風呂に入らない(かと～/の)。

“洗過澡” / (もう)風呂に入った。

- “ 洗洗澡 ” / 風呂でも入ろうか。
- “ 洗好澡（了嗎？） ” / 風呂から上がってきた。風呂に入っていた？
- “ 洗好幾次澡 ” / 何回も風呂に入った（入る）。
- “ 好好洗你的澡 ” / (余計なことしないで) しっかり(ちゃんと)風呂に入りなさい。等がある。

- 例 2. “ 睡了個覺 ” / ちょっと居眠りをした。
- “ 睡個覺（吧！ / 呢！） ” / ちょっと居眠りする（かな）。
- “ 睡不著覺 ” / 眠れない。
- “ 睡了一覺 ” / 居眠りをした。
- “ 別管睡你的覺 ” / ほっとけ、(早く)寝なさい。

以上のように、漢語の中では、述賓結構詞は意味が構造上複合詞と同様であるが、しかし実際に分離したり、結合したりすることができ、しかも他の成分が入ることもできるという事実から、一般的な述賓式複合詞とは異なることがわかる。

次は、香坂順一(1989)『文法からの中国語入門』から定語と形容詞性修飾語に関係ある例を取り上げることにする。

Chī de dōng xī méi yǒu le

吃的東西沒有了 ... 「食べ物すべて無くなった。」 p137

“ 吃的東西 ” は動詞を定語にしている。ここでは動詞句が修飾語(定語)として用いられていると考えられる。“ 吃的東西 ” 「食べるもの」、動詞を定語に用いる場合には、修飾(限定)される名詞の前に“ 的 ”を置かなければならない。“ 的 ”が省略される場合は“ 吃東西 ” 「ものを食べる」となり、動詞+目的語となる。要するに「動詞+名詞」で動詞句を定語の働きに用いている場合には“ 的 ”を間におく必要があると考えられる。もし“ 的 ”を置かなければ「動詞+名詞」で名詞句を構成していることにすると違う意味や文になる。以下の例を見てみよう。

Zuò de chē 坐的 <u>車</u>	乗る車	Zuò chē 坐 <u>車</u>	車に乗る。
Zhù de fàn diàn 住的 <u>飯店</u>	宿泊するホテル	Zhù fàn diàn 住 <u>飯店</u>	ホテルに泊まる。
Jiǎng de gù shì 講的 <u>故事</u>	話す物語り	Jiǎng gù shì 講 <u>故事</u>	物語りを話す。
Chǎo de fàn 炒的 <u>飯</u>	炒めご飯 (焼きめし)	Chǎo fàn 炒 <u>飯</u>	ご飯を炒める。

これらは、動詞性の語素から成立しており、単独では単語として用いられない語素もあり、“炒飯”のように二語とも単独使用が可能な語素からなっているものもあるから、ただ“炒飯”とすると、「焼きめし」にもなり、「ご飯を炒める」という連語にもなる。

だが、上述した例のように「離合詞」の構成で、語素が二つからなっているもので、二音節の動詞の中には、2つの形態素が分離することを「動賓結構（動詞＋目的語の構造）」と同様な構造と考えられるのではなかろうか。

次には“是～的”構文を基にして、先行研究で取り上げていた例を“動+「的」+賓語”と“動+「的」+賓語”という語順に分けて、または離合詞の構造で中国大陸と台湾のネイティブスピーカーを対象にして、実際の習慣的な用法の調査を行うことにする。

### 3. 中国・台湾ネイティブスピーカーの調査によりアンケートについて

「“是～的” 構文中之宾语位移变化」問卷調査

(中国・台湾ネイティブスピーカー)

您好:

这是一份学术研究使用的问卷，目的是要了解以汉语为母语者在日常生活中是如何使用问卷中的句型，您的回覆将有助於本人了解「“是～的” 构文中之宾语位移变化」如何造成句型焦点变化之影响。本问卷，仅供学术分析使用，不涉及商业行为及个人隐私，也不做其他用途使用，敬请放心填写。

感谢您的参与，我将会用最严谨的态度来处理分析您回答的每一个问题，衷心感谢您的协助与合作。

敬祝 健康快乐!

熊本大学 社会文化科学研究科 博士後期課程・  
人間社会科学専攻 フィールドリサーチ領域  
指導教員：福澤 清・千島 英一・児玉 望  
呉 幸芬 敬上

下列左右两栏的句型结构您是否皆认同，并同时於日常生活当中使用？如您能认同下列左右两栏之句型结构，请在该句之前标示“○”；若无法认同请在该句之前标示“×”。此外请将句中欲强调之重点语圈起。

これは学術研究に使用するアンケートです。目的は中国語を母語とする方々に日常生活の中でどのようにこのアンケートでの文型を使うのかを調査します。あなたの回答を「“是～的” 構文における目的語の位置変化」がどのように当該文中の焦点の変化の影響をもたらすのかに役立てます。当アンケートは、学術分析のみに使用します。商業行為には用いず、個人のプライバシーは守ります。ご安心してご記入ください。

心よりご協力に感謝致します。謹んでご健勝をお祈り申し上げます。

熊本大学 社会文化科学研究科 博士後期課程・  
人間社会科学専攻 フィールドリサーチ領域  
指導教員：福澤 清・千島 英一・児玉 望  
呉 幸芬 敬上

下記 a. b. 2 つの文型の構造は全て認められますか。また、そのような文型を日常生活に使用していますか。下記の 2 つ文型の構造を認めることであれば、文の前の空欄に “○”、認めることができないならば “×” をつけてください。また文の中で強調されているところをまるで囲んでください。

A 關於“動+賓+的”、“動+的+賓”構文 ( “動詞+目的語+的” ・“動詞+的+目的語” )	
1a. 我是在外語學院學英文 <u>的</u> 。 私は外語學院で英語を学んだのだ。	1b. 我是在外語學院學 <u>的</u> 英文。 私は外語學院で英語を学んだのだ。
2a. 他是昨天通知我 <u>的</u> 。 昨日 彼が私に知らせてくれたのだ。	2b. 他是昨天通知 <u>的</u> (我)。 彼が(私に)知らせてくれたのは昨日だ。
3a. 我們是五時半回學校來 <u>的</u> 。 私達は五時半に學校から帰ってきたのだ。	3b. 我們是五時半回來 <u>的</u> 學校。 私達は學校から帰ってきたのは五時半だ。
4a. 我是跟孩子一起爬到山頂去 <u>的</u> 。 私は子供と一緒に山頂まで登って行ったのだ。	▲4b. 我是跟孩子一起爬到山頂 <u>的</u> 去。 ▲私は子供と一緒に山頂まで登ったんだ。
5a. 阿里是昨天打電話來 <u>的</u> 。 昨日阿里が電話を掛けてきたのだ。	5b. 阿里是昨天打來 <u>的</u> 電話。 阿里が電話をかけてきたのは昨日だ。
6a. 我是去年來日本 <u>的</u> 。 私は去年日本にきたのだ。	6b. 我是去年來 <u>的</u> 日本。 私が日本にきたのは去年だ。
7a. 你是 67 年去北京 <u>的</u> ，還是 68 年去北京 <u>的</u> 。 あなたは 67 年に北京に行ったの、68 年に行ったの。	7b. 你是 67 年去 <u>的</u> 北京 還是 68 年去 <u>的</u> 北京。 あなたは北京に行ったのは 67 年ですか。68 年ですか。
8a. 你是什麼時候 <u>參加</u> 工作 <u>的</u> 。 あなたはいつ仕事に就いたのですか。	8b. 你是什麼時候 <u>參加的</u> 工作。 あなたが仕事に就いたのはいつですか？
9a. 我是學中文 <u>的</u> ，他是學英文 <u>的</u> 。 私は中国語を学び、彼は英語を学んだのだ。	9b. 我是學 <u>的</u> 中文，他是學 <u>的</u> 英文。 私が学んだのは中国語で、彼が学んだのは英語だ。

10a. 他是写诗的 <u>的</u> ，我是写散文 <u>的</u> 。 彼は詩を書く人（詩人）で、私は散文を書く。	10b. 他是写的 <u>的</u> 诗，我是写的 <u>的</u> 散文。 彼は詩を書き、私は散文を書く。
--	---

例文参照/刘月华・潘文娛・故頼（1983）小寺春水（1994）・鹿琮世・藤山和子（1988）

B 關於离合动词 ( 離合動詞について )	
11a. 刚刚是我给孩子擦背 <u>的</u> 。 さっき私が子供の背中を流したのだ。	11b. 刚刚是我给孩子擦的 <u>的</u> 背。 さっき子供の背中を流したのは私だ。
12a. 是妹妹收拾房子 <u>的</u> ，我插花 <u>的</u> 。 部屋を片付けるのは妹で、生け花をするのは私だ。	12b. 是妹妹收拾的 <u>的</u> 房子，我插的 <u>的</u> 花。 部屋を片づけたのは妹で、生け花したのは私だ。
13a. 他们是昨天吵架 <u>的</u> 。 彼らは昨日喧嘩したのだ。	13b. 他们是昨天吵的 <u>的</u> 架。 彼らが喧嘩したのは昨日だ。
14a. 我们是前几天凑钱 <u>的</u> 。 私達は数日前に金を出し合ったのです。	14b. 我们是前几天凑的 <u>的</u> 钱。 私達は数日前に金を出し合ったのです。
15a. 他们是因为睡姿不好而落枕 <u>的</u> 。 彼らは寝相がよくないから寝違えた。	15b. 他们是因为睡姿不好而落的 <u>的</u> 枕。 彼らは寝相が悪いため、寝違えたのだ。
16a. 他们在哪迷路 <u>的</u> 。 彼らはどこで迷子になったの。	16b. 他们在哪迷的 <u>的</u> 路。 彼らはどこで道を迷ったの。
17a. 你是怎麼停车 <u>的</u> （呀！）把别人的路都档了。 何て車の停め方をするんだ。通りが塞がっているんだよ。	17b. 你是怎麼停的 <u>的</u> 车（呀！）把别人 <u>的</u> 路都档了。 何て車の停め方をするんだ。通りが塞がっているんだよ。
18a. 东西不是小张偷的，是别人栽赃 <u>的</u> 。 物を盗んだのは小張ではなく、人に罪を着せられたのだ。	18b. 东西不是小张偷的，是别人栽的 <u>的</u> 赃。 物を盗んだのは小張ではなく、人に罪を押しつけられたのだ。
19a. 不知是谁造孽 <u>的</u> 。 誰か罰当たりなことをしたの。	19b. 不知是谁造的 <u>的</u> 孽。 誰か罰当たりなことをしたの。
20a. 他是吃什麼中毒 <u>的</u> （啊）!	20b. 他是吃什麼中 <u>的</u> 毒啊！

彼はどんなものを食べて中毒になったのか。	彼が中毒になったのはどんな食べ物を食べたからですか。
----------------------	----------------------------

『現代汉语离合词用法辞典』 杨庆蕙 主编

<p>C 以上哪些句子让您觉得奇怪？或不适合？请说明原因或提供你宝贵的意见。        (以上の文について、どこが不自然、不適切だと思われる箇所がありますか。どうぞご意見をご忌憚なく、お聞かせください。宜しく願いいたします。</p>			
原因		意見	

国・出身地・性別・年齢 \_\_\_\_\_

ご協力、有難う御座いました。

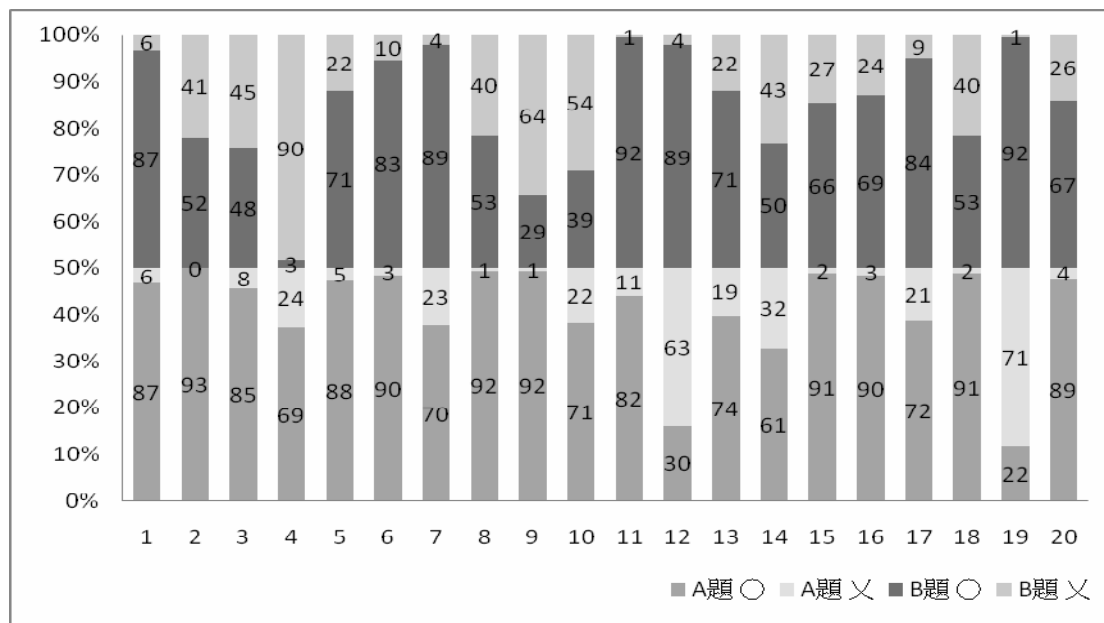


## 統計結果図

中国ネイティブスピーカー93人(20歳～40歳)

1a		2a		3a		4a		5a		6a		7a		8a		9a		10a	
	×		×		×		×		×		×		×		×		×		×
87	6	93	0	85	8	69	24	88	5	90	3	70	23	92	1	92	1	71	22
1b		2b		3b		4b		5b		6b		7b		8b		9b		10b	
	×		×		×		×		×		×		×		×		×		×
87	6	52	41	48	45	3	90	71	22	83	10	89	4	53	40	29	64	39	54

11a		12a		13a		14a		15a		16a		17a		18a		19a		20a	
	×		×		×		×		×		×		×		×		×		×
82	11	30	63	74	19	61	32	91	2	90	3	72	21	91	2	22	71	89	4
11b		12b		13b		14b		15b		16b		17b		18b		19b		20b	
	×		×		×		×		×		×		×		×		×		×
92	1	89	4	71	22	50	43	66	27	69	24	84	9	53	40	92	1	67	26



従来、大陸の中国人にとって、A、B 二つの文型は殆ど理解することができ、ただの習慣的な使い方の違いだと考えられている。今回は北(哈爾濱, 黒龍江～)から南(上海, 廣西～)まで幅広く調査を行った。

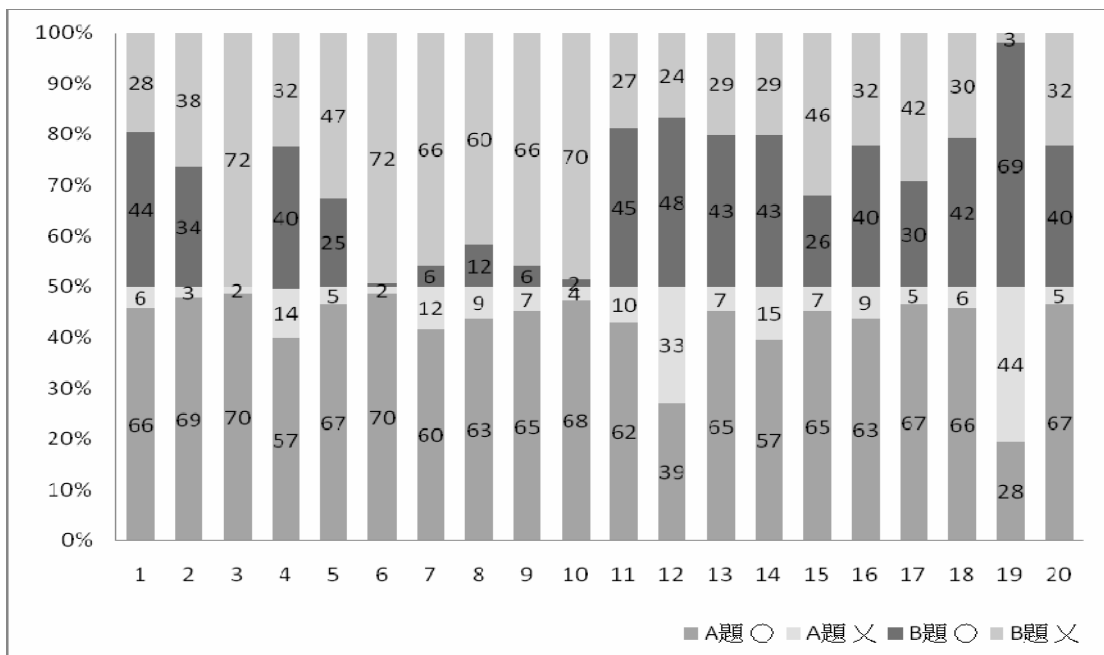
しかし、4b (○3 / ×90) は中国の習慣的な用法を基にし、取り上げた文だが、調査の結果によると殆ど受け入れられず、動詞が文末に置かれることはやはり不自然だという。

19a の結果によると、大部分の方がこのような言い方をしないことも判明した。この例の使用習慣とは、まさに台湾の用法とは正反対になる。

台湾ネイティブスピーカー 72人 (20歳~40歳)

1a		2a		3a		4a		5a		6a		7a		8a		9a		10a	
	×		×		×		×		×		×		×		×		×		×
66	6	69	3	70	2	57	14	67	5	70	2	60	12	63	9	65	7	68	4
1b		2b		3b		4b		5b		6b		7b		8b		9b		10b	
	×		×		×		×		×		×		×		×		×		×
44	28	34	38	0	72	40	32	25	47	0	72	6	66	12	60	6	66	2	70

11a		12a		13a		14a		15a		16a		17a		18a		19a		20a	
	×		×		×		×		×		×		×		×		×		×
62	10	39	33	65	7	57	15	65	7	63	9	67	5	66	6	28	44	67	5
11b		12b		13b		14b		15b		16b		17b		18b		19b		20b	
	×		×		×		×		×		×		×		×		×		×
45	27	48	24	43	29	43	29	26	46	40	32	30	42	42	30	69	3	40	32



台湾人にとって、Aの動賓構造は、1b～10bの“動詞+的+目的語”という語順の変わった“倒装句型”(inversion・倒置)のような感覚で、殆ど理解することはできない。但しBの離合詞11～20の使い方ならば、一般的に受け入れられる。特に、皮肉を表現する言葉使いや内面的な情緒や現状を表す時に、焦点として強調されていると思う。このような離合詞を用いると実際の発話時においては、最初の音節に一回息を切り、語調を強くするか、または、音調を上昇する。19b.を例にして日本語の音韻表示にすれば、「不知{#是誰}{#造}的{孽}」の発話仕方である。だが、台湾ネイティブスピーカーにとって、11b～20bでは特に強調する時に用いられることが多いと考えられる。

## 結論

本来、中国と台湾は同様の漢語文法を用いている。即ち、一般的にはSVO語順のように文が構成されている。それに“的”が文中に名詞を修飾する構造助詞とし、または文末に置くことにより、断定・強調的な語気助詞に変えることになる。一般的に、特に目的語を強調する場合には、「的」は文末に置かれ、「動+賓語+「的」」のような語順で焦点を強調を表すことができる。

但し、北方方言の影響で「動+「的」+賓語(目的語)」のような語順は、現在中国大陸全体で習慣的な使用法になるとみなされているが、現代の中国人にとって、寧ろこの用法の方が自然だと考えられるのではなからうか。

本稿では、アンケートのBに11a.～20aが離合動詞を“是～的”構文に用い、11b.～20bに二文字の動詞の中には“的”を書き入れ、分離することによって、「動賓結構(動詞+目的語の構造)」になると考え、対照してみることにした。結果的には、このような離合詞文ならば、目的語が“的”の後ろに置かれることについて、台湾人ネイティブスピーカーにも受け入れやすいことが判明した。

また、アンケートの中日対照訳によると1a.～20aは日本語の「～のだ」構文に近く、1b.～20bは「～のは～だ」構文に近いと判明した。日本語では「～のだ」構文と「～のは」構文との違いは、どちらも強調構文を述語にする表現方法だと考えられる。

因みに、調査の結果、漢語の「是XP V-NP 的」(是XP VP 的)と「是XP V 的 NP」とは単に話者の出身地の習慣用法と語順の違いだけと考えられ、意味は変わらないとわかったが、例6【「是去年来的日本。/日本に来たのは去年だ。」/ = 来日本的是去年】のように、「是XP V 的 NP」が「VP 的是XP」にもなれると解釈できるのではないかと考えられる。

しかし、仮に強調される焦点は同様であるが、漢語では、前者は肯定的または、已然事

態を表せるが、後者は単に前後等しい関係を意図するものだと考えられる。

次のように「A、是他收拾的房間 / 部屋を片つけたのは彼だ / B、收拾房間的是他」焦点は動作主の「彼」であるが、A、は動作主の強調でありながら、動作は既に完成した已然性も表されている。その上に、A、は「是他收拾房間的 / 彼が部屋を片つけたのだ。」とも言えると思う。B、は「彼が部屋を片つける当番だよ。 / 部屋を片つける当番は彼だよ。」という完了などの時間性を持たずに、動作主だけの強調と考えられる。要するに、「是 XP V 的 NP」と「VP 的是 XP」は正確には必ずしも一致しない。

以上、本稿の考察結果は、具体的には、杉村博文（1983）の論点に近いと考えられる。つまり目的語を“的”の前後に置く二通りの使い方は、確かに、アスペクト性の違いにより生じている傾向があると思われるからだ。それは、既知の事件を前提として述べている文では、已然の事態を表すか、もしくは非経常的な瞬間的行為が事態を表す文になると考えられる。

## 参考文献

香坂順一（1989）『文法からの中国語入門』

杉村博文（1983）「“的”の前移せよ」『中国語学文学論集』465～484頁。伊地智・辻本両教授退官記念論集刊行会 東方書店

杉村博文（1995）「中国語における動詞句・形容詞句の照応形式」大東文化大学語学教育研究所『語学研究大会論集3』p.51-66

趙元任著・丁邦新訳（2002）「中國話的文法」中文大学出版社

中山時子監修・鹿琮世・藤山和子編著（1988）「新しい中国語語法」東方書店

馬學良・史有為（1982）「说“哪儿上的”及其“的”」『语言研究』第一期 60-70頁

劉月華・潘文娛・故穎（2001）『實用現代漢語語法』商務印書館

牛秀蘭（1991）「關於“是～的”結構句的賓語位置問題」,『世界漢語教學』第三期 175~178頁

楊慶蕙（2006）『現代漢語離合詞用法辭典』北京師範大學出版社